

## 対人援助学の課題としての男性問題

企画者：中村正（立命館大学）

話題提供者：國友万裕（同志社大学）、田宮雄介（大阪市児童相談所）、木下大輔（認定フリースクール・アウラ学びの森知誠館）

コメンテーター：中村正（立命館大学）

男性のライフサイクルの諸相における要支援課題の生成について、そのミクロとマクロの双方からジェンダー作用と影響について考察することは社会的課題となっている。こうした問題意識のもと、男性性作用の帰結としての、コミュニケーションと相互作用、対人関係や親密な関係性構築の過程について、応答と表出の困難さ **response impossible** / **inexpressiveness** を基軸としてエピソードの切り出しと分析をおこなう。これは対人援助学にとっての未開発な領域として男性問題を定式化することを意図した論点設定である。報告者の考察や実践をもとにした話題提供にもとづき意見交換し、今後の実践に資する示唆を得たいと考えている。